

防災学習をご検討中のみなさま  
中越大震災メモリアル活動を学習に活かしてみませんか？

令和8年度・リニューアル  
防災教育支援プログラム  
募集開始のお知らせ

防災学習をどう深めればいいのかお悩みの先生方へ

「生きた防災学習」を、プロのコーディネートで実現しませんか。

中越メモリアル回廊では中越大震災の復興の歩みに基づいた実践的な教育支援プログラムを提供しています。学習計画のアドバイスから、経験豊富な講師の無料派遣、施設見学のコース提案まで、ワンストップで対応。地域に根ざした活動背景を持つ私たちだからこそ伝えられる、子どもたちの心に響く学びをコーディネートします。

POINT1  
講師派遣が無料

地震の仕組み、防災への備え、地域の災害リスクなどを経験豊富なゲスト講師の講座を費用負担なしで受けられます。

POINT2  
学習計画のトータル相談

校外学習のコーディネートもおまかせ！中越メモリアル回廊施設だけでなく、大河津資料館など関連施設を含めた最適な見学コースをご提案します。

POINT3  
心に刻まれる「わがこと」体験

15年の伝承活動で培ったノウハウを凝縮。被災地ならではの視点を通じて、子どもたちが自ら考え行動するための「防災意識」をじっくりと醸成します。



中越メモリアル回廊  
The CHU-ETSU Earthquake Memorial Corridor

中越メモリアル回廊 とは？

2004年に発生した「新潟県中越大震災」の教訓と災害からの復興伝承を目的に整備された災害メモリアル施設。4つの拠点施設と3つのメモリアルパークで構成されていました。2026年4月以降は各館リニューアルを実施し活動をつづけています。

「長岡震災アーカイブセンターきおくみらい」

「やまこし復興交流館おらたる」

「おぢや震災ミュージアムそなえ館」

(2026/6月 リニューアルオープン)

「妙見メモリアルパーク」

「木籠メモリアルパーク」

「震災メモリアルパーク」

メモリアル回廊HP  
アクセスはこちら



【本プログラムご利用にあたり ご理解ご協力をお願い】

- ◎本事業は「中越大震災の教訓を次世代へ伝える活動」を主要テーマと位置付けており、長岡市内の小中学校に重点的に対応します。（長岡市外の団体からのお申込みも受け付けますが、長岡地域の子どもたちへの学習支援を優先させていただく場合があります）
- ◎関係する各施設が実施している有料プログラム、イベント参加費、語り部謝金、材料費、メモリアル回廊施設以外への入館料などの費用が必要となる場合は各自のご負担となります。
- ◎1団体（学校）につき年間1回のプログラムお申し込みとさせていただきます（クラス毎に別日程など複数日の講座はOK）。
- ※ 施設見学にかかる移動手段（バス等）の手配費用は、各校・団体にてお願いいたします（昨年度までとの相違点）。

プログラム実施のながれ

① お問い合わせ  
（お気軽にご相談）

まずは学習の目的や実施時期見学したい内容などをお気軽にご相談ください（お電話メール、専用の申込用紙にて受付します）。

② プログラム設計  
（ヒアリング）

要望を丁寧にヒアリングして、単なる見学に留まらず子どもたちの到達目標に合わせた最適な学習内容や見学コースをご提案します。

無料 ③ 出張講座  
（ゲスト講師派遣）

学びを深めるため専門講師を派遣します。災害の仕組みや日頃の備えについて学び、子どもたちの「もっと知りたい」意欲を引き出します。

④ 見学の実施と振り返り  
（オプション）

要望に応じてメモリアル施設や関連施設などでの校外学習を実施。気づきを持ち帰り、学びを定着させ、次年度への継続的な視点もサポートします。

このプログラムは長岡市中越大震災メモリアル基金を活用して運用されています

## 出張講座の内容、事例

[小学校（4年生）社会科・ベーシック講座例]

### 【講座カリキュラム例】（45分）

- 災害ってなんだっけ？ （自然現象と「災害」の違いを考えよう）
- 災害の種類としくみ （ヒントは地面の上と下！地震と気象災害のナゾ）
- 地震はどうしておきる？ （私たちの足の下で起きていること）
- 突然の地震、こんなときあなたなら？ （その時、命を守るための判断力を磨く、防災クイズ等）
- 22年前の大災害から気づいたこと （中越大震災の教訓を未来へつなぐ）

### 【ここがポイント!】

- 画像映像資料：当時の貴重な写真や動画、データを用いて、リアルな学びを提供します。
- 対話型授業：講師からの一方的な話ではなく、クイズや問いかけを通して子どもたちが主体的に考える時間、自分の身に起こったらどうするか（わがこと感）を育みます。

[中学校（2年生）総合・アップデート講座例]

### 【講座カリキュラム例】（50分）

- 災害の種類とそれぞれの備え （「しくみ」を知り「そなえ」を考える）
- 地震のメカニズムと中越の特徴 （私たちが暮らす地域の災害特性と中越地震での事例）
- 決断と行動力 （22年前の被災地でどのような判断が下されたか）
- 避難所シミュレーション （ワークショップで考える災害時の共助とは）
- 次の災害に備えるために （学びを振り返り、地域で考えられる備えを考える）

### 【ここがポイント!】

- 「地面の上と下」：ヒントから、中学生なら「ハザードマップの重ね合わせ」や「地質図の読み解き」など、より高度なツールを使う内容に発展させると手応えが増します。
- 「防災ワーク」：中越地震の具体的な事例を基にしたワークショップを取り入れ、実際に起こった出来事やトラブルをどう解決するのがベストだったのか考えます。

## 利用者の声（令和7年度参加校より）

（先生方より）

「地域の防災特性がわからず不安でしたが、専門的な支援を受けられ、非常に心強かったです。」

「事前講座のおかげで子どもたちの目つきが変わり、その後の校外学習がより深い学びになりました。」

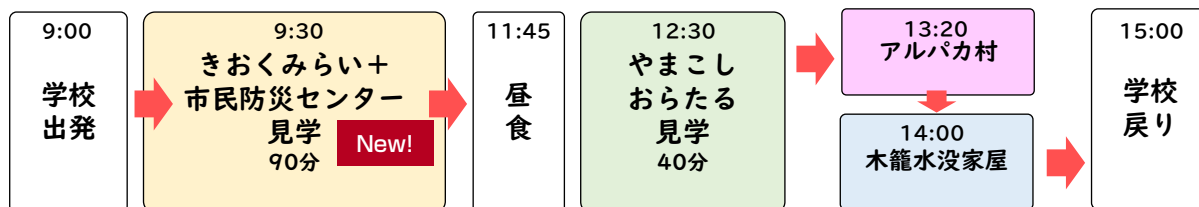
（子どもたちの変化）

「災害のあとの方が大変だと知り、家族と備えについて話し合うきっかけになりました。」

「防災が自分たちの生活に繋がっていることを、実物や体験を通して実感できたようです。」

## 校外学習（モデルコース）

[見学コース例：長岡市内出発の学校が見学する場合]



（他の見学例） 中越メモリアル回廊施設のほかに、信濃川大河津資料館、道の駅ながおか花火館、三条市水防学習館、妙見浄水場、寿クリーンセンター、新潟県立歴史博物館、長岡市戦災資料館、など

## 【お申し込み・お問い合わせ】

公益社団法人 中越防災安全推進機構（長岡震災アーカイブセンターきおくみらい）

電話：0258-39-5525 FAX：0258-39-5526

eメール：kiokumirai@cosss.jp（担当：赤塚）

きおくみらい

検索

長岡震災アーカイブセンターきおくみらいは、2026年5月より「ながおか市民防災センター」2階へ機能移転しました！